

※記載の内容は変更になる場合があります。



【鹿児島店】鹿児島市西田2-15-12 (1F)

【南さつま店】南さつま市加世田東本町18-9

「あたりまえの家」をあなたに

☎ 0120-679-146

ムリナク イイホーム →ホームページへは、QRコードを読み取ってください



smilegenjp

http://www.smilegen.jp



シックハウス症候群とは・・・？

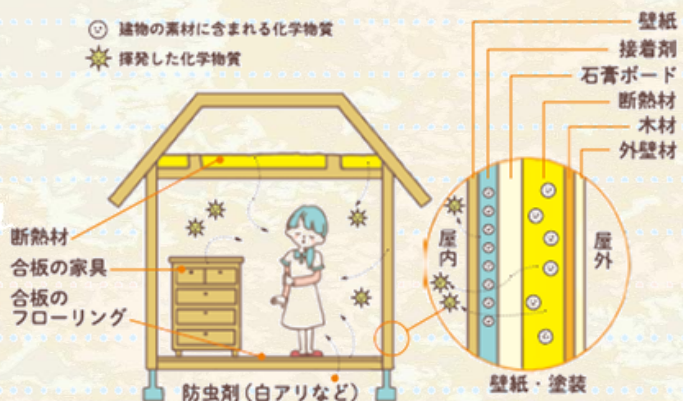
「シックハウス症候群」という言葉を耳にしたことがある人も多いと思います。花粉症ではないのに、くしゃみ・鼻水が止まらない！のどが痛い！などの症状がある方は、一度、室内環境の検査をしてみてください。今回は、「シックハウス症候群」の原因と対策をご紹介しますので、参考にしてみてください！

こんな症状があればシックハウス症候群の可能性も・・・？

目	涙目、ドライアイ、疲れ目、充血、結膜炎、チカチカする	耳	耳鳴り、難聴
鼻	くしゃみ、鼻水、鼻の詰まり	皮膚	赤み、かゆみ、発疹(じんましん)、皮膚炎
口・のど	痛み、乾き、味覚異常、咽頭痛、気道の圧迫感		

対策

■シックハウス症候群の原因



常に換気をして、揮発した化学物質を建物内にためこまないようにしましょう！
新築住宅を検討している場合は、建材や塗料、換気面について事前に相談することが肝心です。

具体例

- ・24時間換気システムなどを使って換気をする。
- ・家具を選ぶとき、合板のものには要注意！
- ・新築する時は、安全な塗料や自然素材の建材を使用する。
- ・壁の仕上げは紙クロスや塗り壁などを用いる。

おすすめ建材 自然素材

新築時におすすめなのが、特殊な加工をせず、自然そのままの特徴を活かした「自然素材」。シックハウス症候群の引き金をなる石油化学系塗料や接着剤などを使用していない為、安心です。

建物の建材や家具に使用されている塗料、接着剤、防虫剤などに含まれる化学物質が揮発して、建物内の空気を汚染し、人体に影響を及ぼします。

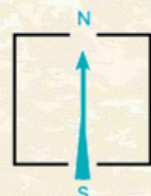
■正しい換気の方法とは？

3つのポイントをおさて「風の通り道」をつくる！

揮発した化学物質を建物外に放出するためには、「換気」が重要！風の流れるしくみを理解しつつ、効率的に換気しましょう！

ポイント1

風は南から北に流れる



空気は、暖かい所から涼しい所へ、日の当たる南側から、日陰になる北側に向かって流れます。南側の窓を開けて風を取り込みましょう！

ポイント2

風は下から上に流れる



空気は下から上に流れます。2階建ての家では、建物全体での換気を考えながら、上部の窓もきちんと開けましょう！

ポイント3

風の入口と出口をつくる



風を取り入れるだけでは十分な換気になりません。北側や2階、部屋上部など、風が流れていく方向の「出口」の窓を開けましょう！

完成！

すべての場所で家族のだんらんが生まれる家

～加世田 T様邸～

加世田に完成したこちらの住宅は、家と家の間に挟まれ限られたスペースながらも、1階をワンルームにすることで広々空間を実現しました！キッチンやお風呂などの水回りを一箇所に集約し、使い勝手もよくスッキリまとまった印象に。リビング中央には吹抜けを設け、大きめのホールは、子供の遊び場やスタディスペース、第二のリビングとしても活躍しそう。家のどこにいても家族の声が聞こえる、団欒ホームの完成です！

また、長期優良住宅の認定を取得し、国土交通省の「地域型住宅グリーン化事業」による補助金100万円を活用しています！



↑外壁の濃紺（アトランティックチタンブルー）に赤いドアが印象的な外観。



↑1階がワンルームになっている広々のリビングダイニング。中央には吹抜けを設け、光が降り注ぐ明るいリビングに。



↑2階ホール。遊び場やスタディスペースとしても大活躍！2階にいても家族の気配を感じる空間に。



家族のつながりを感じる二世帯住宅

～鹿児島市桜ヶ丘 M様邸～



現在工事中

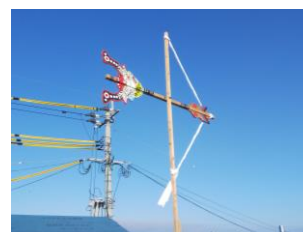


完成イメージ

桜ヶ丘に建設中のこちらの住宅は、ご両親、ご夫婦、お子様の二世帯住宅です。1階にリビング・お風呂などの共用スペースとご両親の寝室、2階にはご夫婦の寝室と子供部屋を設け、プライベート空間は守りつつも、リビングを広くとり、家族が集う団欒空間を確保しました！
パントリーや収納もしっかり充実させ、機能性もバッチリの長期優良住宅です！
完成は7月末、完成見学会を行う予定です。詳細は決まり次第、住まいる玄ホームページ等でご案内します！

上棟式の由来

先日、住まいる玄でも、無事に執り行われた上棟式。たくさんの方にお越しいただき、ありがとうございます！また、天気にも恵まれ最高の上棟式日和でした！
上棟式はお餅をまく光景が印象的ですが、本来の意味を知っていますか？
上棟式の「棟」とは、木造住宅の棟木のことで、棟木とは、屋根部分の一番上に横向きに取り付けられる木で、古くから棟木は家の象徴的存在と考えられています。文字通り、「棟木を上げる式」と言うことです。
地鎮祭が、氏神様を鎮め、土地を利用させてもらい、工事が無事に進むように祈る儀式であるのに対し、上棟式は竣工後の安全を願うために行われます。



上棟式は、元々は式の最中に棟木を取り付ける儀式ですが、最近ではその代わりに魔除けの矢などを飾り、四方を祓うといった簡略化したやり方をする事も多いです。
地域によっては上棟式の際にお餅や小銭などを撒く習慣があります。元々は、家や建物を建てた時に災いを払うために行った儀式が由来です。
昔は「家を建てることは富の象徴なので、嫉妬や厄災を招く」と考えられていました。
その対処として、神様にお供えする食べ物である「餅」や、富の分配である「小銭」をまいて、集まった人に持って帰ってもらうことで厄を避けるという意味があるそうです。
最近では、上棟式をやらない場合も多くなってきましたが、昔ながらの風習を大事にしていきたいものですね！

